

令和3年度 家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

実施日：令和3年11月24日（水）

今回は、家庭教育支援事業の企画やその発表、閉講式等を、当初の予定どおり実施することができました。閉講式では、14名の研修修了者に、修了証を授与しました。

○ グループ協議「家庭教育支援事業の企画」

総合教育センター生涯学習部職員

前回に引き続き、各受講者が居住する地域においてニーズが高いと考えられる家庭教育支援事業を企画するため、グループワークに取り組み発表に向けた準備を行いました。

どのグループでも、受講者は積極的に自分の考えを伝え合いながら企画を練り上げていきました。特に事業プログラムを組み立てる際には、実施時期や回数、場所、連携先、リスクマネジメント等、事業の有効性や持続性をできるだけ高めるための最善の方策を求め、活発な協議が行われました。

この演習を経て完成したプログラムには、事業内容や期待される効果などが具体的に記されており、企画した事業を是非実現させたいという受講者の思いが表れていました。



○ 家庭教育支援に向けた取組の発表並びに閉講式

総合教育センター生涯学習部職員

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会役員や各教育事務所担当者が見守る中、グループごとに考えたアイデアあふれる企画を発表しました。同世代の親同士のネットワークを充実させるための取組や、あらゆる世代の人々が集える場を設け、孤立の予防・解消や子どもたちの体験活動の充実、自己有用感の高揚を狙った取組、子どもの居場所や学習の場を充実させると共に、そこを利用するための送迎も実施して親をサポートしようとする取組が発表され、それらは自分たちができそうなことを真剣に考え、作成されたものでした。会場からは、これらの企画を是非実現して欲しいという声が上がりました。

研修を修了した14名の皆様には、研修で得た学びや気づきを生かし、地域に根ざした家庭教育支援の実践者として今後の活躍が期待されます。どうぞ、頑張ってください！



☆受講者の声（アンケートから）

- ・計画立案の順序立てや方法を経験することができ、地域支援をする上での参考になりました。
- ・各班の発表内容からも、多世代にわたる交流の大切さを感じました。各支部長との情報交換も、活動の内容が聞けて有意義でした。
- ・事業企画にあたって詰めの甘い所が質疑で明らかになり、広い視野で考えることの大切さを感じました。
- ・（研修全体をとおして）Zoomの研修がとても役に立ちました。手厚いフォローをありがとうございました。
- ・この研修をとおして、子育て世代の抱える悩みや様々な問題を知ることができました。自分も支える側の一員となれるよう、今後も積極的に研修等に参加してスキルアップしていきたいと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp